

近畿大学理工学部 学生員 ○奥西 崇文

近畿大学理工学部 正会員 久 隆浩

1. はじめに

1970年代より、地域の個性あるまちづくりを目指し、住民主体のまちづくりが進められるようになってきた。1990年以降はこうした傾向にますます拍車がかかっている。しかし、一方で経済活動はグローバル化の影響を受け、地域の地場産業は衰退の一途である。こうしたなか、地域では生業としての産業活動とまちづくり活動の乖離がおこっている。本来、地域における産業活動がまちづくりにつながってこそ、持続性の高いまちづくり活動になっていくと考えられる。そこで本研究では、歴史的・社会的風土性を持つ地場産業である酒造業に着目し、酒造業が持つ役割の検証を通じて、地域性のあるまちづくりについて考察することを目的とする。

2. 酒造業とまちづくりの関係

元来、酒造業は地域のまちづくりにおいて重要な役割を担っていた。地場産業としての酒造業は、水や米といった原料を地場に求め、また、雇用面でも地域に貢献していた。また、酒蔵をはじめとする建造物は地域の景観を構成する重要な要素であった。さらに、酒造によって得た豊富な資金を活用し、美術品や書画、骨董の収集などで地域文化の醸成に一役かったり、新田開発や治水工事等々にも取り組む酒造業者も存在した。

3. 研究の方法

研究では、まず地域における酒造業の位置づけを文献調査によって歴史的変遷を分析する。次に、インターネット検索によって、全国にある酒造メーカーが、地域に対していかなるまちづくり活動を行っているのか、その全体傾向を把握する。さらに、高槻市の富田地域を事例として、富田地域にある2つの酒造メーカーに対しヒアリング調査を行い、地域に対して行っているまちづくり活動の現状を把握する。

4. 地場産業としての酒造業の歴史的変遷

歴史的に見ると、近代以前は酒造業は地場産業として営まれており、原料や労働力の地域調達、そして販売も地域、というように地域との関係は深かった。しかし、近代化によって酒造業は、ナショナル・ブランド、ローカル・ブランド、マイナー・ブランドに分化していった。さらに、戦後、とくに高度成長期以降は地域との関係の希薄化に拍車がかかった。特に、大量生産・大量消費という流れの中、交通機関が発達するにつれ、全国販売を展開する経営方針をとる酒造メーカーが生き残る傾向が強まった。

5. 酒造業のまちづくり活動

インターネット検索によってあきらかにした全国の酒造メーカーが行っているまちづくり活動を、活動の目的により分類すると、下記の3つに分類することが出来る。

- ①酒造業のことを知ってもらうための活動
- ②地域の活性化、人々の交流をはかる活動
- ③魅力あふれるまちづくりをめざす活動

以上の目的それぞれに、ソフト面・ハード面で活動を分類したものが表-1である。表中で下線を引いているのは酒造業ならではの活動である。こうした活動の多くは地域の歴史的風土特性に関係した活動であ

ることがいえる。

表-1 全国で行っている活動の分類

6. 富田地域におけるまちづくり活動

次に、富田地域でのヒアリング調査の結果からは、原材料の水は地域に依存していたが、米は地域外のものを使いさらには杜氏としての労働力も地域外に依存していた。販売についてはおもに地域に対して行っていた。先ほどの全国におけるまちづくり活動と同様に富田地域におけるまちづくり活動を整理すると表-2 のようになる。

7. 全国と富田地区のまちづくり活動比較

全国と富田地域の活動を表にして比較すると表-3 のようになる。ここでは、両者で行われている同じ活動に関しては省いている。

全国の酒造メーカーと富田地域の活動を比較すると、富田地域では酒蔵を活かした景観保全・維持活動や、酒トラスト活動による地域環境保全（水田保全、水環境保全酒造り）など、酒造業の産業特性を活かした活動が少なく、ハード面での活動まで至っていないことがいえる。ヒアリング調査による活動に対する酒造メーカーの意識分析からは、富田地域にある2つの酒造メーカーは、酒造業とまちづくり活動は別物だという意識があることがわかった。

8. まとめ

酒造業は他の活動者に比べ、酒造業を営むことによって、生産・販売・消費の面で、より地域に密着した特性を地域に与えることが可能である。こうした酒造業の特長を活かしたまちづくりを行っていけば、地域性を考慮したまちづくりをさらに発展させることができる。しかし、その鍵を握っているのは酒造メーカーの意識である。富田地域では確かにまちづくり活動はさかんになっているが、残念ながら酒造業ならではの活動の展開が希薄であった。酒造メーカーが、酒造業としてその特徴を活かしつつまちづくり活動に関わるということが重要であると考えられる。

表-2 富田地域で行っている活動の分類

	ソフト面	ハード面
酒造業のことを知ってもらうための活動	酒蔵見学	
人々が交流し、地域のコミュニティづくりを目指す活動	酒祭り お酒を飲む会（酒利き会） 酒蔵を利用した活動	
魅力あふれるまちづくりを目指す活動	歴史の勉強会・講演会	酒蔵を活かした景観保全・維持 酒トラスト活動 地元の酒米作りによる水田保全 水資源を取り巻く環境の保全

表-3 全国と対象地域の活動の比較

	全国	富田
酒造業のことを知ってもらうための活動	お酒の博物館・資料館の設立	
コミュニケーション活動	お酒を飲む会 酒蔵を利用した活動	ガレージセール joint寄席
魅力あるまちづくりを目指す活動	酒トラスト活動 酒蔵を活かした景観保全・維持	ウォークラリー（スタンプラリー）

《参考文献》

- 1) 百瀬恵夫、木谷一松：地域産業とコミュニティ、白桃書房、p1-12、1986
- 2) 石倉三雄：地場産業と地域振興、ミネルバ書房、p75-130、1999
- 3) 世古一穂：酒蔵を核としたまちづくり、地域開発・第88号、1996.10